

2021年7月13日

## 日清紡グループ 統合報告書 2021 発行と CSR サイト改訂に関するお知らせ

日清紡グループは、企業理念「挑戦と変革。地球と人びとの未来を創る。」のもと、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして事業活動を通じて社会に貢献し、社会とともに成長し続けています。

このたび日清紡グループでは統合報告書 2021 を発行し、当社ホームページの CSR サイトを改訂しましたのでお知らせ致します。

統合報告書 2021

[https://www.nisshinbo.co.jp/nish/ir/library/pdf/annual\\_report/2021\\_jp.pdf](https://www.nisshinbo.co.jp/nish/ir/library/pdf/annual_report/2021_jp.pdf)

日清紡グループ CSR サイト

<https://www.nisshinbo.co.jp/csr/>

統合報告書では、取締役社長・村上雅洋のトップメッセージをはじめ、当社グループの3つの戦略的事業領域－「モビリティ」「インフラストラクチャー&セーフティー」「ライフ&ヘルスケア」－における製品やソリューションとともに、ESG への取組みについてご紹介しています。当社グループは、社会のニーズに合わせ事業ポートフォリオを変革することで持続的な成長を目指しております。投資家はじめステークホルダーの皆さまのご参考になるよう、これら非財務情報についても記述を一層充実させました。

### 【トップメッセージの内容】

- 持続的な成長のために M&A は「友好的」であることにこだわる
- 従業員が納得して動けるよう、コミュニケーションの努力は怠らない
- 常時、「見極め」と「見切り」を検討しながら、人財も育成する
- 2021 年は攻めに転じ、成長戦略の実行にアクセルを踏む
- デジタルを活用したサービス事業への拡大で収益基盤をより強固にする
- ダイバーシティ&インクルージョン活動を推進する
- ESG 重視や SDGs 追求は当社グループの経営戦略のど真ん中

CSR サイトでは、ESG を経営戦略の中心に位置づけ、「『環境・エネルギーカンパニー』グループとして超スマート社会を実現する』ことを事業方針として掲げるトップメッセージを紹介しています。また 2020 年度の活動実績を掲載し、各種活動が SDGs を見据えたものであることが分かりやすく表現されています。

日清紡グループの目指す方向は SDGs と重なっており、バリューチェーンのどのプロセスにおいても SDGs の達成に貢献していきます。今年の CSR サイトでは「SDGs への貢献」を新設し、バリューチェーンの中でコアとなる SDGs を図表にまとめています。

企業活動全体で貢献するコアとなるSDGsゴール			
	E 環境	S 社会	G ガバナンス
原料調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>LCA活動を推進し、化学物質や廃棄物の排出量削減や環境配慮型製品の開発に活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ LCA</li> </ul> </li> <li>化学物質管理の活動の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 化学物質管理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「CSR調達ガイドライン」を策定しサプライヤー様に周知。さらに調達先アンケートを活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CSR調達基本方針</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「腐敗行為防止のてびき」を策定し海外グループ会社を含め贈収賄防止対策に活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コンプライアンス</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロエミッション（リサイクル率99%以上）活動を展開</li> <li>リサイクル率95%の達成を目標とした廃棄物削減活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 省資源</li> </ul> </li> <li>事業所や主要なサプライチェーンの水リスク評価を実施。さらに水使用量調査と管理を実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 水資源</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権・雇用などあらゆる面で多様性を尊重し、ワークライフバランスを推進</li> <li>安全衛生活動の取り組み                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 人権・労働慣行</li> </ul> </li> <li>「グループ健康管理部門会議」による健康経営の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康</li> </ul> </li> <li>社員が積極的に環境貢献活動や環境美化活動に参加                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コミュニティへの参画、コミュニティの発展</li> </ul> </li> </ul>	
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送量の低減による燃料など天然資源の効率的な利用を推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 輸送量</li> </ul> </li> </ul>		
物流	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会に貢献する製品の拡販                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 環境への取り組み</li> </ul> </li> <li>梱包材料の再使用や使用量削減などを推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 省資源</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「顧客満足度向上施策の継続推進」を達成するために計画的に対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 消費者課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業倫理通報制度を設け、法令違反に対する早期発見と是正・再発防止                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 企業倫理通報制度</li> </ul> </li> </ul>
販売			

  

戦略的事業領域を含む事業戦略で貢献するコアとなるSDGsゴール		
モビリティ	インフラストラクチャー &セーフティー	ライフ&ヘルスケア

現在、2019年度からの第4期中期CSR目標を掲げ、数値で把握可能な項目については、重点活動項目ごとにKPIを用いて活動しています。全従業員がKPIを用いて達成状況を確認しながら、さらに良い活動へと充実・発展させています。

※ KPI: Key Performance Indicator 業績管理指標・業績評価指標

## 第4期中期CSR目標 企業理念・マテリアリティとKPIとの関係



末尾別紙参照

【2020年度の主なトピックス】 詳細は日清紡グループCSRサイトをご覧ください。

- (1) 日清紡ケミカル(株)は、住宅・建築物の断熱工事や、冷凍・保冷車、業務用冷凍・保冷庫などのコールドチェーン関連、トンネル背面の空洞補修工事等に使用される硬質ウレタンフォームの発泡剤を、フロン類のHFC（ハイドロフルオロカーボン）から、ノンフロンの水およびHF0（ハイドロフルオロオレフィン）への切り替えに取り組んでいます。2020年度のHFC使用量は、前年度比49%削減となり、13,000t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>削減効果がありました。

ターゲット：9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

ターゲット：13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

- (2) 佐賀エレクトロニクス(株)では、半導体製造工程からの排水を回収し再利用するための濾過装置を導入しました。この装置で濾過した水（上水道以上の水質）は再度製造工程に送水して再利用を行い、大幅な上水道削減を達成しました。目標としていた24,000m<sup>3</sup>/年削減に対し、実績で32,400m<sup>3</sup>/年削減となりました。また同量の下水32,400m<sup>3</sup>/



年も同時に削減することができました。

ターゲット：6.4 2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

- (3) 日本無線(株)は、社会貢献活動の一環として青少年にものづくりの楽しさを体感してもらうために毎年、ラジオ工作教室を開催しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった会場もありましたが、感染症対策を徹底し全国11会場で225名の生徒さんに参加していただきました。



ラジオ工作教室

ターゲット：4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

- (4) 新日本無線(株)では、製品開発におけるデザインレビュー(設計審査)を通じて、「各国の電波法や規制に適合した製品設計がなされているか」、「お客さまに危害、危険を与えないことを配慮した製品設計がなされているか」、を検証することで、お客さまが安全・安心に使用していただける製品提供に努めています。2020年12月20日、情報通信機器とAV機器の2つの安全規格が統合した新安全規格(IEC/EN/UL623688-1)への移行に伴い、対象となる製品すべてにおいて新安全規格への対応を完了しました。

ターゲット：12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

以上

日清紡グループ 第4期中期 CSR 目標 企業理念・マテリアリティと KPI との関係

	企業理念（行動指針）	マテリアリティ	重点活動項目	日清紡グループの取り組み	KPI 目標				
<b>E</b> Environment 	環境負荷への認識と配慮	環境・エネルギー分野の貢献	環境経営の推進	生物多様性保全活動の強化	海外での展開 5 事業所以上				
				売上当たりの水使用量の削減	2017 年度比 3% 以上削減				
				ライフサイクルアセスメント（LCA）の推進	売上に占める割合 50% 以上				
				「持続可能な社会に貢献する製品」の拡販	売上に占める割合 55% 以上				
				売上当たりの使用エネルギー削減	2014 年度比 10% 以上削減				
				売上当たりの温室効果ガスの排出量削減	2014 年度比 10% 以上削減				
				売上当たりの PRTR 対象物質排出量削減	2017 年度比 10% 以上削減				
				リサイクル率の改善	リサイクル率 90% 以上				
				<b>S</b> Social 	人権の尊重	安心・安全な社会づくり	人権の尊重	人権啓発活動の拡充・ハラスメントの防止	人権研修実施率 100%
					多様性を尊重		ダイバーシティの推進	障がい者雇用率の向上	障がい者雇用率 (達成会社の比率) 100%
	人材のグローバル化の推進								
	女性が働きやすい職場環境の整備	女性活躍推進法一般事業主行動計画に基づいた 2021 年度目標の達成率 100% 育児休業復帰率 100%							
安全が全ての基本	労働安全衛生活動の推進	労働災害の防止	重大災害 0 件						
質の高いコミュニケーション	社員の健康づくり	健康経営の推進	定期健康診断受診率 100% ストレスチェック実施率 100%						
	品質・顧客満足度向上	顧客満足度向上施策の継続推進	PL 法違反件数 0 件						
	社会貢献活動の展開	地域貢献活動への参画							
<b>G</b> Governance 	コンプライアンスの徹底	グローバル・コンプライアンス	企業理念の浸透		改定グループ企業理念の浸透		グループ企業理念研修実施率 100%		
			コンプライアンスの徹底		コンプライアンス教育の定期的実施		コンプライアンス研修受講率 100%		
				企業倫理通報制度の運用	企業倫理通報への対応率 100%				
			内部統制の強化	内部統制システムの継続的な整備・運用					
			リスクマネジメント活動の推進	リスクマネジメント有効性の向上					
			情報セキュリティ対策の強化	外的脅威からの防御					
	公正かつ透明な取引	CSR 調達の推進	調達先と連携した CSR 調達の改善実施	主要調達先への CSR アンケート結果に伴う改善状況の評価 100%					
	企業理念（行動指針）	マテリアリティ	重点活動項目	日清紡グループの取り組み	KPI 目標				